



つながりを広げて大きな声に

美濃部 裕道さん（木之本町千田）
NPO法人CILだんない 代表

撮影場所：CILだんない事務所（木之本町千田）

「話すより、これを見ていただいたほうが分かりやすいと思います」と、アルバムを示してくれたのは美濃部裕道さん。重度障害者の自立生活を実現するためのNPO法人「CIL(自立生活センターの略)だんない」の代表を務めています。

美濃部さんは先天性の脳性まひ。アルバムで生い立ちをめくると、ベビーカーから車椅子へと変わります。

NPOを立ち上げるきっかけになったのは、養護学校高等部で宿泊体験をしていたときのこと。筋ジストロフィーである同級生、市川正太さんと休憩をしながら、将来の夢の話になったそうです。「いつか二人で何かをやろう。障害者のため、福祉のために」と。そして、そんな将来の夢を語っていたその

時に、何気なく先生が撮ってくれた写真が、二人の原点としてアルバムの1ページに。2005年9月21日、二人の青年の表情は希望に満ちあふれていました。

その後、大学へ進学し、一時期は市川さんと離れることになりましたが、メールなどで連絡を取り合いながら夢をつなげ、2012年12月3日にだんないを設立。副代表の市川さんとともに、新たな目標に向かって歩み始めます。

自身の経験から、田舎では障害者が利用しやすい交通機関や移動手段が大幅に不足していると感じていた美濃部さん。障害者に限らず高齢者や子どもにとって暮らしやすい環境こそ、真に住みやすい社会といえると話します。「障害は治療するものではなく、社会環境をよくしていくことで、なくしてい

くんです」。

美濃部さん自身は、電動車いすサッカーチーム「FCリュートスター滋賀」で選手としても活躍していますが、孤立して遮断されている障害者が数多くいることを指摘します。「もっとつながりを持ちたい。僕らの活動で、多くの人がつながれば、ひとつの大きな声になる」とやる気をにじませます。

1人でも多くの障害者が自立できるように、誰もが住みやすいまちを作りたい—

湖北の方言“だんない(心配しなくても大丈夫)”に込めた、「段」が「ない」社会を叶えるために、美濃部さんの挑戦は続きます。

(ご本人の思いを尊重し、「障害」と漢字表記しています)

Smile Smile

このコーナーでは、市内在住のお子さんたちの写真を掲載します。
笑顔と元気あふれるお子さんたちの写真を募集しています。
掲載を希望する人は市民広報課（☎65-6504）まで申込みください。



好奇心旺盛で元気いっぱいな毎日を過ごせてるね。人見知りもせずいつもニコニコ。これからも色々なことを楽しもうね。

近藤

太雲ちゃん（平成26年5月生まれ）
（下坂中町）

中川

佳音ちゃん（平成26年8月生まれ）
（三ツ矢元町）



1歳おめでとう！
かわいい声でお話してくれる佳音ちゃん。これからもたくさん笑顔を見せてね。

まちの人口	平成27年7月1日現在	人口 121,384人	男 59,358人	女 62,026人	世帯数 44,736世帯
	平成27年6月中の異動	転入 252人	転出 255人	出生 81人	死亡 106人
					婚姻 25件



植物油インキで印刷しています。再生紙を使用しています。

「広報ながはま」は、各自治会を通じてお届けすることを原則としています。市民交流センターや図書館、公民館などの公共施設にも置いています。市ホームページ、スマホからもご覧いただけます。点字広報、声の広報をご希望の人は市民広報課まで。